

第6回名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅間)問題対策
特別委員会会議録

1. 招集年月日 令和7年5月14日
2. 招集の場所 御嵩町役場 議場
3. 開 会 令和7年5月14日 午前11時20分 委員長宣告
4. 協議事項
 - (1)名鉄広見線の存続を求める決議案について
 - (2)次回委員会の開催日程について

議 事 日 程

令和7年5月 14 日(水曜日) 午前11時20分 開議

- 1 委員長あいさつ
 - 2 議長あいさつ
 - 3 協議事項
 - (1) 名鉄広見線の存続を求める決議案について
 - (2) 次回委員会の開催日程について
 - 4 その他
-

出 席 委 員(11名)

委 員 長	山 田 徹	副 委 員 長	広 川 大 介
委 員	谷 口 鈴 男	委 員	岡 本 隆 子
委 員	高 山 由 行	委 員	伏 屋 光 幸
委 員	奥 村 悟	委 員	清 水 亮 太
委 員	鈴 木 秀 和	委 員	可 児 さとみ
委 員	鈴 木 篤 志		

その他出席した議員

議 長 大 沢 まり子

職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長 日比野 浩 士

議会事務局書記 井上 美佐子

委員長(山田徹さん)

ただいまの出席員数は11名で定足数に達しておりますので、これより第6回名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅間)問題対策特別委員会を開会致します。

はじめに、議長よりご挨拶をお願い致します。

議長(大沢まり子さん)

大変お疲れ様です。

いよいよ名鉄広見線の問題、時間も無くなってまいりましたので集中しての審議をよろしく願いいたします。

委員長(山田徹さん)

それでは協議事項に入らせていただきます。

次第に従いまして、名鉄広見線の存続を求める決議案について協議します。この決議案でございませうけれども、今後の広見線の方針を決断する期限とされた 6 月が近づく中で、議会の考えを改めて発信するために、決議案の採択を目指し議案を提出すること。議案は会議規則第14条第 2 項に規定された委員会提出とすること。決議案文面は資料とのおりとすること。この3つにつきまして、採決を取りたいと思います。質疑ございますか。

委員(谷口鈴男さん)

先ほど協議会の中で、決議案の文面について協議されました。その中で一部文章的におかしいというか、前後の整合性の問題からすると、若干修正をした方がいいという思いがありますが、今提案してよろしいですか。

委員長(山田徹さん)

はい、どうぞ。

委員(谷口鈴男さん)

決議案の、当該路線の存続に係る前ですが、多面的な未来への相乗効果を生み出す価値あるものであることを再認識しなければならない。そのため、当該路線の存続に係る事業活動、この存続というのをむしろこれは当該路線の活用に係る事業活動、という文言を一つ提案ですが。もう一か所は、一番最後の方ですが、みなし上下分離方式での運行を持続可能性ある現実的な選択手法としてのこの手法というのを、ここを選択手法を基軸として当該路線の存続を目指すべきである。という形の方がむしろ議会の意思を明確にしているのではという風に思うのですが、これもあくまで提案です。その辺のところの

文言を検討していただければありがたいと思います。以上です。

委員長(山田徹さん)

はい、すみません。暫時休憩とさせていただきます。

午前 11 時 22 分 休憩

午前 11 時 43 分 再開

委員長(山田徹さん)

休憩を解いて再開します。

先ほど、決議案につきまして、若干の修正案がありましたけれども、原案とおりにいくということで、採決を取りたいと思います。よろしくお願いします。

そのほか、質疑ございませんでしょうか。

(質疑なし)

委員長(山田徹さん)

質疑なしと認めます。

それでは、採決を取ります。ただいまの決議案、文面で委員会は次の案とさせていただくことにつきまして、採決を取らせていただきます。賛成の方は挙手をお願いします。

はい、挙手全員でございます。

以上で本日の委員会を閉会いたします。お疲れ様でございました。ありがとうございました。

午前11 時 44 分閉会

上記のとおり会議の経過を記載して、その相違のないことを証するため、ここに署名する。

令和 年 月 日

会議録署名者

名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅間)問題対策特別委員長

山 田 徹